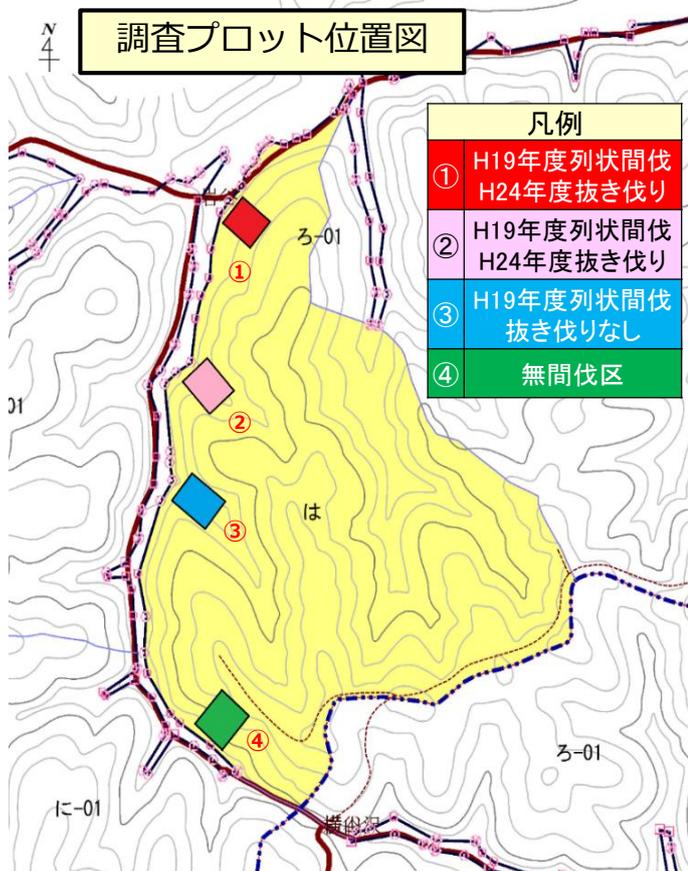




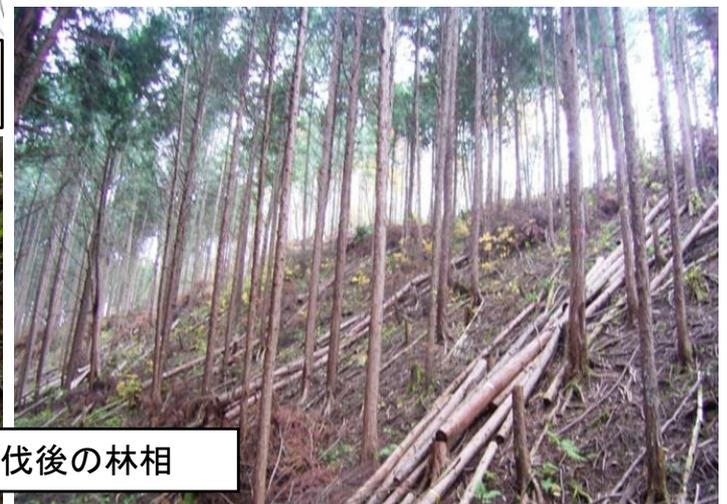
列状間伐後の中径木生産による施業の確立

- 場所：茨城森林管理署管内
東茨城郡城里町大字塩子 岩谷国有林269は林小班（一部）
- 期間：平成27年度～
- 共同開発機関：森林総合研究所
- 概要：列状間伐後には、小径木から中径木までの多様なサイズの樹木が残るが、競合または他の個体を被圧している中大径木を間伐・生産し、木材需要者のニーズに応えるとともに間伐木と競合または間伐木に被圧されていた小中径木を将来木として育てる森林施業を検討する。

試験地設定年度：2007(H19)年度



調査プロット：40m×50m=0.20ha×4箇所
①②は1伐1残、1伐2残、1伐3残を設定



列状間伐後の林相